

「おにぎりや」～一つひとつの活動の積み重ね～

教科・場面

生活

授業・実践のねらい

一つひとつの活動の積み重ねと、
発展的継続に重きを置いた学習活動



対象の児童・生徒 小2・3年生 児童9名

◆B 類型（3年4名）

（例）Nくんの場合

＜年間目標＞集団活動に参加し、流れを理解して行動することができる。

＜おにぎりやでの目標＞全体を見て空いている席を確認し、数字カードを使って案内する。

◆C 類型（2年2名、3年3名）

（例）Aくんの場合

＜年間目標＞教師や友だちと一緒に活動する中で相手に意識を向けることができる。

＜おにぎりやでの目標＞食器を返却に来たお客さんとの会話や本児が好きな楽器を介してのやりとりで相手に意識を向ける。

教材・教具（準備物）

- ・作成した三角巾
- ・選択肢カード
- ・飾り各種
（新聞・ティッシュで作ったおにぎり等）
- ・看板「いらっしゃい」「おにぎりや」
- ・午前の調理実習で児童が作ったおにぎり
- ・スイッチ等

工夫したところ

- ・今後、継続して活動を積み重ねていくことを見越して、看板を作製
- ・積み重ねてきた活動を児童が意識できるように店内にディスプレイ

授業展開・教材の使い方・実践の内容など

- ・小1年：パーティー 小1・2年：おもや 小2・3年（今年度）：おにぎりや
- ・5～10月：稲づくり
- ・5月：すなあそび（泥だんごあそび）
- ・6～7月：買い物学習で買った布や野菜、学習園で育てた野菜で野菜スタンプ
- ・9月：野菜スタンプで作った布で三角巾の製作（洗濯、アイロンがけ、ミシン縫い）
- ・10月：店の準備、おにぎりを握る練習（招待状作り→招待客に招待状を渡しに行く。新聞紙やティッシュを握り、ツナに見立てた絵の具をしぼる→当日の店内の飾りに使用。調理の事前授業）（B 類型：形への理解、調理手順の理解、自分の役割や一連の流れの理解）
- ・訪問授業でおにぎりやの活動を行った訪問生の動画を授業で共有し、当日は机上で再生

授業・実践を通じた児童生徒の変容

- ・本物の素材を使用した事前学習や調理の際、感触や匂いに対して気持ちを表出できた。（C 類型）
- ・学校での給食時間や家で「おにぎりを握ってほしい」や「ラップを取って」と伝えるようになった。（B）
- ・練習した定型文以外でもお客さんとのやりとりで場に応じたコミュニケーションをとれた児童がいた。（B）